

第49回県内一周駅伝

多久市チーム今大会は13位

恒例の県内一周駅伝大会が、2月13日から15日までの3日間開かれ、多久市を代表して、舩津静哉監督率いる34人が、総距離298.1km、全34区間のレースに挑みました。

各郡市を代表して、全13チームが基山町役場前をスタート。多久市チームはレース序盤から13位と出遅れ、初日には雨に見舞われる悪条件となり、巻き返しが難しい状況を強いられました。レース終盤では第31区の田中理菜選手と第32区の泉静里菜選手の多久中央コンビが上位好走を見せましたが、挽回には及ばず、最終ランナーの藤井康輔選手が累計タイム18時間39分49秒で、佐賀新聞社前のゴールをきりました。

なお、レースは、前大会5位の小城市チームがレース初日はトップを維持しましたが、中盤から佐賀市チームが盛り返し、終盤は他チームとの競り合いをしのいで、累計タイム16時間9分19秒でゴール。大会4連覇を飾りました。



市立病院前を疾走する山下勝平選手 (2/15)



小城駅の中継点で野田康平選手から田中選手へタスキが渡される (2/15)



市長のWindow

市長コラム

▼市民のみなさんへ

奔走甲斐ある努力を重ねつつ

1年前のコラムで「青春の詩」を紹介した。「青春とは心の若さである」のメッセージは、私たちに活力や希望をもたらす。

そんな心の若さで日々精励されていた先輩が急逝された。現職の古賀和夫・多久市議会議長。その後を追うかのように武富健一・前議長も逝去なさった。ご冥福を心よりお祈りする次第である。後任の議長に就任された牛島和廣議長、吉浦啓一郎副議長は厳粛さの中で、先輩たちから引き継いだ議会活性化と市政発展の支援に決意も新たにされている。市議会と行政が両輪の如く力を合わせ、多久市の発展に力を尽くしたい。

さて、昨年秋の経済激変から不景気の風が強まりつつある。しかも静かに襲う病魔のように地方へと広がる気配もあり、気がかりである。3月議会に提案する21年度予算と補正予算には景気対策・雇用確保策も含めている。とにかく今年の前半は経済との格闘が最重要と重く受け止めている。

そんな中に予算要望で中央省庁を訪ねている。今年の新たな発見は、要望先の相手はこちらをご存知ということだ。「多久の横尾市長さんですね」と初対面に近い方から声がかかる。年を重ねるお蔭ともいえるが、要望説明もやり易く、実に有難い。「地方分権改革推進委員会での活躍を見えています」、「全国市長会からも、多久市長に頑張ってもらっていると聞いています」とも話される。面接試験なみの問答での「財政厳しい時代に堅実に頑張られますね」には「職員の頑張り」と応えた。

まさに奔走甲斐がある。だからこそ「さらに」と、やる気を高めている。そしてこの卒業の季節に巣立つ子どもたちに祝福を贈りたい。心の若さと希望を忘れずに、さあ飛べ！（俊彦）

市長交際費支出状況

▼平成20年度1月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	4	40,000
	累計	82	244,125
見舞い	今月分	0	0
	累計	6	60,000
御祝	今月分	2	20,000
	累計	42	216,850
賛助	今月分	0	0
	累計	8	47,000
激励金	今月分	0	0
	累計	1	20,000
接遇	今月分	0	0
	累計	65	154,950
会費	今月分	13	42,000
	累計	26	118,000
その他	今月分	0	0
	累計	6	27,260
合計	今月分	19	102,000
	累計	236	888,185

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/>